

AD 7 ヶ条

1 元気良く、明るく、大きな声で（人に好かれるためには、挨拶、返事から）

ADの基本でもあり最重要。人に好かれる人間になれ！自分をアピールする手段でもある。

2 常に相手の立場にたって考える（考えることを癖にする）

相手は何が言いたいのか、何を欲しているのか、まずそれを考える。

気持ちよく仕事をする(してもらう)ためには、どうしたらよいのか。

どのようにすればスムーズに仕事出来るのか、

その早道が“相手の立場でものを考える”。自分中心（私は～）の考え方はまだいらない。

3 360度の気配り（気を配れる人間に）

自分が見える範囲に気を配るのは当たり前。後ろにも目があるように気を配る。

ADは気が抜けない、気を抜かない、気配りが出来るADが重宝される。

4 嘘をつくな！ ごまかすな！ 言い訳するな！（正直な人間に）

怒られるのが嫌なために嘘をつき、言い訳をし、ごまかそうとする。

そんなことはすぐにバレ、信用をなくし、仕事を任せられなくなる。

PやDも含め、言い訳が通用する世界ではない。結果が全てだと思った方が良い。

5 仕事の優先順位を考える（仕事の効率化）

やらなくてはいけない事が、山ほどあるのはいつもあること。

今日中にやらなくてはいけない事、明日でもいいもの、

優先順位を考えれば、頭の中も整理され、効率よく仕事が進むはず。

また、今日やれることは今日やる！仕事は絶対に先延ばしにしない！

先延ばしにしまうと、必ず、自分の首を絞めることになる。

「すぐやる！ 必ずやる！ 出来るまでやる！」

6 怒られるのがADの仕事（怒られることは前進の一步）

ADのうちは、きちっと仕事をしてもらえないうちが誉めてはもらえない。

しかし、ミスをすれば怒られる。

経験が少ないのだから、怒られる確率は高い。だから、怒られるのを恥だと思ふな。

同じ失敗を2度3度と繰り返さないことが大切。怒られた原因を常に考えること。

7 1～2年の我慢 苦しみを知らずして本当の楽しさはわからない！

苦しく辛いのも1～2年の我慢。（本人次第ではあるが）

常に、楽（らく）をしようとして苦しみ（地獄？）から逃げてばかりいれば、

本当の楽しさ（天国？）はわからない。地獄にいるのも天国に行くのも自分の頑張り次第。